



先進国と発展途上国の インフラストラクチャー

長野県上田染谷丘高等学校 1年1組 永井航平



この課題に関わるSDGs番号

・1 貧困をなくそう
トイレを世界中に
りを

・6 安全な水と
・11 住み続けられるまちづく

テーマ設定の理由

- ・先進国と発展途上国を比べると、発展途上国のインフラが整ってないため、**乳児死亡率が高かったり、飢餓や栄養不足で苦しんでいる人がいる**
- ・私達のような先進国に住んでいる人は、水や電気などをほぼ自由に使えるが、**発展途上国の人には使える量が限られているため不便である**

要約すると、
から、場所によって有利不利があるのはおかしい！
協力していくべき！
いから

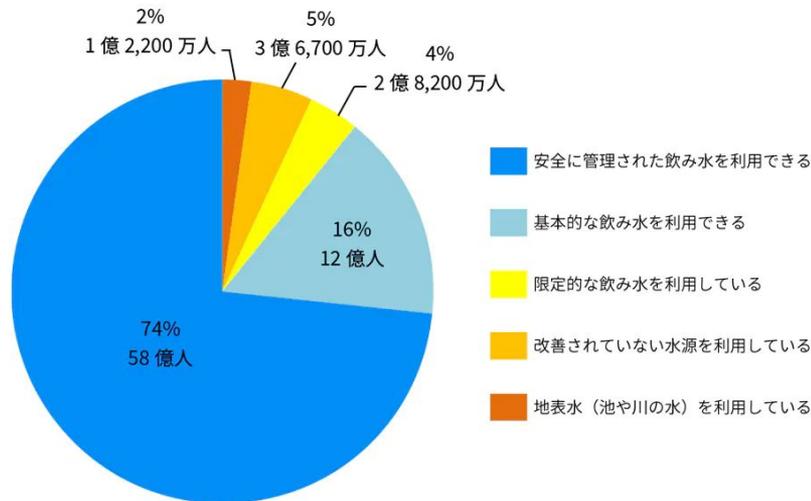
同じ星に住んでいるんだ
スタートラインをみんな一緒にして、
ということを訴えた

現状(水について)

全世界の**約26%**は安全に管理された水を利用できていない。そのうち、**約半分**を発展途上国が多い アフリカが占めている。

人数になおすと、**約20億人**が安全に管理された水を利用できていない。

世界の人々の、飲み水へのアクセス状況
(2020年時点)



In 2020, 138 countries² had estimates for safely managed drinking water services

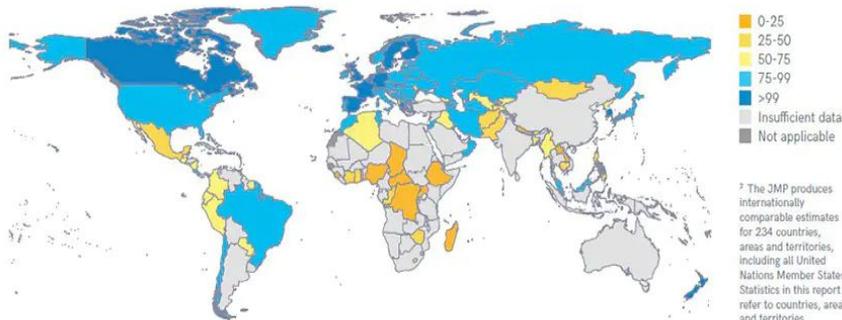


FIGURE 4 Proportion of population using safely managed drinking water services, 2020 (%)

課題

住民にとって

- ・(川に汲みに行くので) **時間**がかかる、質が悪い
- ・貧困層にとっては水道管を接続するの**高い料金**がかかる
- ・給水車やボトル水は**高額**

水道事業者にとって

- ・能力のある技術者や企業が**少ない**
- ・質の悪い素材を使うので、**故障**が相次ぐ
- ・薬品やスペアパーツ等の消耗品が**適時に調達できない**

解決策

住民

- ・浄水剤、石鹼などを小分けで販売する
- ・まとまったお金を持たない貧困層や村落住民でも手が届く価格設定(1パック数円)

水道事業者

- ・農村に開発コンサルタントを派遣する
- ・現地で調査や技術協力を行い、現地事情に精通する
- ・相手国の水道事業者と信頼関係を構築する



10代からの提言

- ・技術協力をしたり、物を無償で提供することもありがたいと思うが、**現地の人々の心に寄り添うことも大切だ**と思う。
- ・いくら日本の企業やNGOが民間人に技術を教えても、**政府絡みで、もっと大規模に現状を変えていこうとしない**と**いつまでたっても変わらない**と思う。



感想

- ・中学生の頃に今回と似たようなことを調べたり発表したりしたが、その頃と比べて知らないことやわからないことがたくさんあった。
- ・SDGsの活動などをしているときに、「自分たちだけがこんなちっぽけなことをしていても世界は変わらない」と言ってる人がいるが、私はのんなことないと思う。**塵も積もれば山となる精神**で今後もこのような活動をしていきたいと思う。



参考

https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/sdgsbvs/kaihatsu/ku57pq0002azxod-att/171012_water.pdf

JICAの水分野の協力

https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_act01_03_water.html

ユニセフの主な活動分野 | 水と衛生